

環境行動目標

環境行動目標(目標と実績)

カシオは、世界的な動向を踏まえた環境ビジョンを軸に、各年度ごとに環境目標を設定し環境活動を推進しています。

持続可能な社会の実現に向けた環境ビジョン

カシオは、持続可能な社会の実現に向けた環境ビジョン、および環境経営方針に基づき、環境経営に取り組んでいます。カシオの環境ビジョン、および環境経営方針については、環境ビジョン(31,32ページ)をご参照ください。

2011年度 カシオ環境行動目標

製品にかかわる行動目標

1. 環境適合型製品の開発目標

2012年度 カシオグリーンスター商品の売上比率**30%**

工場・事業所にかかわる行動目標

1. 中長期の温室効果ガス削減目標

中期目標

事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2020年度に**30%**削減

長期目標

事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2050年度に**80%**削減

※事業活動:国内および海外の生産拠点とオフィス拠点の活動を指し、物流、製品使用、従業員移動などに伴うCO₂の排出は含まない。

2. 省エネルギー目標(電力・燃料など)

国内生産拠点

実質生産高二酸化炭素(CO₂)原単位を、1990年度に対し、2008年から2012年度(5年間)の平均値で**35%**削減

※実質生産高:電気電子4団体の方針に基づき、日銀国内企業物価指数(電気機器)で名目生産高を補正したもの。

国内オフィス拠点

二酸化炭素(CO₂)排出総量を、1990年度に対し、2008年から2012年度(5年間)の平均値で**9%**削減

海外生産拠点

生産高二酸化炭素(CO₂)原単位を、2004年度に対し、2012年度までに**30%**削減

海外オフィス拠点

二酸化炭素(CO₂)排出総量を、2004年度に対し、2012年度までに**3%**削減

3. CO₂以外の温室効果ガス削減目標

CO₂以外の温室効果ガス総排出量(CO₂換算)を2000年度に対し、2012年度までに**90%**削減する

- HFC-134aの削減

※HFC-134aを使用しているダストブロー等より地球温暖化係数の低い化学物質を使用している製品に切り替える。

4. 省資源目標(水、紙)

国内生産拠点

水使用量の実質生産高原単位を、2000年度に対し、2012年度までに**25%**削減

海外生産拠点

水使用量の生産高原単位を、2004年度に対し、2012年度までに**15%**削減

国内拠点

オフィス用紙使用量の売上高原単位を、2007年度に対し、2012年度までに**10%**削減

5. 廃棄物削減目標

国内拠点

廃棄物発生量の実質売上高原単位を、2000年度に対し、2012年度までに**50%**削減

海外生産拠点

廃棄物発生量の売上高原単位を、2004年度に対し、2012年度までに**30%**削減

6. VOC(揮発性有機化合物)削減目標

国内生産拠点

VOCの大気排出量を2000年度に対し、2015年度までに**45%**削減

※電機電子4団体にて、VOC20物質を指定。カシオは8物質を使用中。

7. 有害物質の使用廃止目標

保管中のPCB含有機器を日本環境安全事業(株)のエリア別事業状況に合わせ無害化処理を行う

- ・甲府カシオ:2014年度まで

※八王子技術センターで保管中の低濃度コンデンサを含む安定器については、受け入れ可能となるまで保管を行う。

8. PRTR法対象化学物質の排出量削減目標

国内生産拠点

対象化学物質の排出量実質生産高原単位を、2003年度に対し、2012年度までに**40%**削減

9. グリーン調達の実施目標

2011年度グリーン部品調達率(資材発注全部品に対するグリーン部品※¹の率)国内/海外拠点**100%**※²を維持継続する

※¹:グリーン部品:カシオが指定する禁止物質が非含有の購入資材、部材。

※²:顧客要望に基づき、法規制範囲内でカシオが指定する禁止物質を使用する場合を除く。

10. グリーン購入の実施目標

2012年度 国内拠点の文具、事務用品、OA機器類のグリーン購入比率**75%**(件数ベース)

※CATS e-Pシステム導入拠点を対象

11. 物流の温暖化対策目標

国内物流におけるCO₂発生量※を売上高原単位で2012年度までに2005年度比**22%**削減

※対象範囲は製品の販売にかかわる工程とし、資材材料調達、リサイクルにかかわる工程は含まない。

事業活動全般にかかわる行動目標

1. 生物多様性の保全目標

生物多様性・生態系サービスの保全のため、2011年度までにすべての事業領域において生物多様性影響度調査を行い、施策テーマを設定する

2010年度 カシオ環境行動目標実績

2010年度 カシオ環境行動目標実績報告

達成度評価基準	マークの意味
①目標値を達成して、かつ新たに高い目標値が設定された	☆☆☆☆
②目標値を達成した	☆☆☆
③目標値は未達成だが、前年度よりは着実に改善された	☆☆
④目標値に向かって推進中であり、次年度以降に成果が見込まれる	☆
⑤基準値と同等かまたは悪化している	▲

	活動テーマ	目 標	基準年 原単位など	目標年 目標原単位など	2010年度 実績原単位など	2010年度末 までの実績	達成度 自己評価
製品にかかわる行動目標							
1:環境適合型製品	グリーンスター商品売上比率の向上	2012年度 グリーンスター商品の売上比率30% [グリーン商品売上比率80%以上を継続]	—	30% [80%以上]	42% [80%]	達成率140% [達成率100%]	☆☆☆
工場・事業所にかかわる行動目標							
1:中長期の 温室効果ガス削減	中期の温室効果ガス削減	事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2020年度に30%削減	132,213 (トン-CO ₂)	92,549 (トン-CO ₂)	54,217 99,029 (トン-CO ₂)	59.0%減 (45.3%減)	☆
	長期の温室効果ガス削減	事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2050年度に80%削減	132,213 (トン-CO ₂)	26,443 (トン-CO ₂)	54,217 99,029 (トン-CO ₂)	59.0%減 (45.3%減)	☆
2:省エネルギー (電力・燃料等)	CO ₂ 排出量の削減 (国内生産拠点)	実質生産高原単位を1990年度に対し、2008年から2012年度(5年間)の平均値で35%削減	0.312 (トン-CO ₂ /百万円)	0.203 (トン-CO ₂ /百万円)	0.185 *1 0.211 *2 (トン-CO ₂ /百万円)	40.7%減 (12.1%減)	☆☆☆
	CO ₂ 排出量の削減 (国内オフィス拠点)	CO ₂ 排出総量を1990年度に対し、2008年から2012年度(5年間)の平均値で9%削減	11,492 (トン-CO ₂)	10,458 (トン-CO ₂)	8,533 *1 9,533 *2 (トン-CO ₂)	25.8%減 (10.5%減)	☆☆☆
	CO ₂ 排出量の削減 (海外生産拠点)	生産高原単位を2004年度に対し、2012年度までに30%削減	0.235 (トン-CO ₂ /百万円)	0.165 (トン-CO ₂ /百万円)	0.206 0.265 (トン-CO ₂ /百万円)	12.3%減 (22.3%減)	☆☆
	CO ₂ 排出量の削減 (海外オフィス拠点)	CO ₂ 排出総量を2004年度に対し2012年度までに3%削減	5,099 (トン-CO ₂)	4,946 (トン-CO ₂)	7,496 7,362 (トン-CO ₂)	47.0%増 (1.8%増)	▲
3:温室効果ガス削減	CO ₂ 以外の温室効果ガス総排出量(CO ₂ 換算)を2000年排出量以下にする	2010年までに総排出量を2000年排出量以下とする	7,278 (トン-CO ₂)	7,278 (トン-CO ₂)以下	3,007 11,355 (トン-CO ₂)	58.7%減 (73.5%減)	☆☆☆☆
	水使用量の削減 (国内生産拠点)	実質生産高原単位を2000年度に対し、2012年度までに25%削減	0.0077 (千m ³ /百万円)	0.0058 (千m ³ /百万円)	0.0045 0.0089 (千m ³ /百万円)	41.6%減 (49.4%減)	☆☆☆
4:省資源(水・紙)	水使用量の削減 (海外生産拠点)	生産高原単位を2004年度に対し、2012年度までに15%削減	0.0039 (千m ³ /百万円)	0.0033 (千m ³ /百万円)	0.0045 0.0032 (千m ³ /百万円)	14.9%増 (40.1%増)	▲
	オフィス用紙使用量の削減 (国内拠点)	売上高原単位を2007年度に対し、2012年度までに10%削減	0.00035 (トン/百万円)	0.00032 (トン/百万円)	0.00047 0.00041 (トン/百万円)	32.9%増 (13.5%増)	▲
	廃棄物発生量の削減 (国内拠点)	実質生産高原単位を2000年度に対し、2012年度までに50%削減	0.024 (トン/百万円)	0.012 (トン/百万円)	0.0136 0.0195 (トン/百万円)	43.2%減 (30.1%減)	☆☆
5:廃棄物発生量	廃棄物発生量の削減 (海外生産拠点)	生産高原単位を2004年度に対し、2012年度までに30%削減	0.012 (トン/百万円)	0.008 (トン/百万円)	0.0083 0.0106 (トン/百万円)	31.0%減 (21.9%減)	☆☆☆
	VOCの削減 (揮発性有機化合物)	2000年度に対し、2010年度までに30%削減	47 (トン)	33 (トン)	21 32 (トン)	54.7%減 (33.5%減)	☆☆☆☆
7:有害物質の 使用廃止	保管中のPCB含有機器を日本環境安全事業(株)のエリア別事業開始に合わせ無害化処理を行う	甲府カシオ保管分無害化処理は2014年度までに実施する	—	—	処理委託申請済み、受入可能となるまで保管を継続	—	—
8:PRTR法 対象化学物質の 排出量削減	対象化学物質の排出量削減 (国内生産拠点)	実質生産高原単位を2003年度に対し、2012年度までに40%削減	0.00011 (トン/百万円)	0.00007 (トン/百万円)	0.00003 0.00005 (トン/百万円)	71.1%減 (36.4%減)	☆☆☆
9:グリーン調達	グリーン調達率の向上	2010年度 グリーン部品調達率(資材発注全部品に対するグリーン部品(*4)の率)国内/海外拠点 100%(*5)を維持する (*4)カシオ指定の禁止物質を含有しない部品・材料 (*5)顧客要望に基づき、法規制範囲内での含有は除く	—	2010年度 100%	国内100% 海外100%	—	☆☆☆
10:グリーン購入	文具・事務用品・OA機器類のグリーン購入比率の向上 (国内拠点)	2012年度購入比率(件数ベース)75%	—	75%	62.8%	—	☆
11:物流温暖化対策	CO ₂ 発生量の削減*3 (国内物流)	国内売上高原単位で2005年度に対し2012年度に22%削減	—	2012年度 22%削減	2005年度比 75.2%	24.8%削減	☆☆☆
事業活動全般にかかわる行動目標							
1:生物多様性の保全	生物多様性・生態系サービスの保全	2011年までに すべての事業領域において生物多様性影響度調査を行い、施策テーマを制定する	—	—	—	カシオグループの生物多様性ガイドラインを制定した	☆

*1 2008年度～2010年度の3年間の平均値となります。

*2 2008年度～2009年度の2年間の平均値となります。

*3 物流温暖化対策の削減対象範囲は製品・販売物流となります。